

岡山県移出鶏卵検査協会の第1回理事会開かる

移出鶏卵の自主検査を実施して、移出鶏卵の品質を改善し、鶏卵取引の改善を図る目的をもって5月4日岡山県移出鶏卵検査協会が誕生（6月号にて既報）したが、この協会の第1回理事会が下記のとおり開かれた。

記

- 一. 日時 6月10日 13時
- 二. 場所 県会議事堂小会議室
- 三. 議題

1. 会長、副会長の選出について
2. 検査規定について

上の結果会長には県農林部長、副会長には県経済連会長が選出された。検査規定が一部改訂され、協会の業務開始が11月1日と決定された。

附帯協議として、（一）検査員は会員の荷造人が即

検査員となるケースが多いが、この荷造人の検査に対する研修を徹底的に行って、検査の適確と、方式の統一を図る要がある。このために荷造りの講師を招ねいて研修会を8月頃に開催する。（二）各会員は検査場所を確定すると共に検査数量の計画をたてる。（三）荷造箱の妻板面の大マークを統一することを検討する。現在会員は夫々固有のマークをもって各自の荷を出しているが、検査の線に乗せる荷は統一された同一のマークの方が、市場性も向上し、取引が有利となるものと考えられるので、この点を各自検討することとなった。（四）新箱とする場合の経費面を再検討するとともに、新箱の合格荷は、古箱荷と比較して充分採算のとれる線が打ち出されるよう、大阪市場の荷受側にも協力を求めるべく強力働きかける要がある。